

栃木県育英会学生寮 OB/OG 会 発会趣意書

栃木県育英会は、1956年（昭和31年）3月、栃木県知事を会長として、郷土発展のため人材育成の方途を積極的に講じることを目的として設立されました（財団法人栃木県育英会設立趣意書による）。その設立目的のもとに、まず学生の住宅難を緩和するため、1957年（昭和32年）9月に100名収容の男子寮が、1961年（昭和36年）9月には女子寮が東京都目黒区に建設され、その後50年の長きにわたり県出身の学生の生活と教育の場を保障して参りました。さらに1974年（昭和49年）4月から2001年（平成13年）3月までは浦和学生寮も加わり在寮生も増加しました。浦和学生寮建設にあたり、東京学生寮の男子寮と女子寮の入れ替えが行われ、現在では、男子寮の定員は54名、女子寮の定員は100名となっています。建設以来、在寮期間は最長で2年でしたから、卒業生は延べ6000名を越えることとなります。

思い返してみますと、青春の多感な時期に同じ寮に住み、多くの友人を得たことは、その後の人生をたいへん豊かにしていることは間違いありません。しかし、各年次ごとに親しい集まりはあっても、全体を通じての縦のつながりがないことに一抹の寂しさを感じざるを得ません。そこで、2010年1月23日、有志が会い集い、「栃木県育英会学生寮 OB/OG 会組織化準備会」を開き、栃木県育英会学生寮 OB/OG 会組織化を開始することと致しました。組織化の意義として、

- ・卒業生間の連帯感の向上 — 親睦および情報交換、等
- ・次世代への期待 — 在寮生への各種支援、等
- ・栃木県への貢献 — 郷土への恩返し、等

などが考えられます。2010年9月5日には同準備会第2回会合を開き、「栃木県育英会学生寮 OB/OG 会」を発会することを決め、発起人会を構成しました。発起人会は、同 OB/OG 会発会の準備を進め、来る5月14日（土）14:00-16:30に大橋会館（東京都目黒区東山3-7-11）において発会式を執り行うこととしました。

上記趣旨にご賛同いただき、発会式にご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

2011年2月吉日

栃木県育英会学生寮 OB/OG 会発起人会（◎印は会長、○印は代表発起人）

海賀 宏之（1期）、仁木 二郎（1期）、◎橋本 和民（1期）、橋本 吾郎（1期）、
峰崎千之助（1期）、湯沢 千八（1期）、○久保田弘敏（7期）、古口 譲一（7期）、
江田 晋（8期）、大崎 光雄（8期）、大島 巖（8期）、○吉澤 崇夫（8期）、
○大橋 邦雄（9期）、水沼富美男（11期）、飯島 政明（12期）、
○繪面 秀俊（12期）、上野 和夫（12期）、黒崎 健憲（12期）
竹沢 正樹（13期）、○木村 直人（17期）、村田結希恵（45期）
高橋 秀明（48期）

事務局 久保田弘敏

〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1

帝京大学理工学部航空宇宙工学科

電話 028-627-7269 ファックス 028-627-7185

E-mail kubota@koala.mse.teikyo-u.ac.jp